

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2014年3月

第16号

(年4回発行)

春の
お彼岸号

発行部数3千部



「感謝する気持ちを大切に」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／お釈迦さまの説法「初転法輪」
実践教室／葬儀参列のマナー
暮らしの中の仏教語／「無学」

「敬老の日」老について丹羽住職と考える



西願寺本堂

問 春のお彼岸が終わると4月には花まつりがありますが、浄土宗では花まつりを灌仏会とも呼ぶそうですね。こちらでは灌仏会の行事もするのでしょうか？

住職 いいえ、幼稚園ではするのですがお寺では特別なことはしていません。ただ、ずっと昔はこのお寺でもしていたようです。お参りにいらっしゃる方で「子供の頃に西願寺さんで花まつりの時に花御堂のお釈迦さまに甘茶をかけたのを思い出す。」とおっしゃっていた方もいたので…。

問 クリスマスのように国民的行事にはなっていませんが、お釈迦さまの誕生日である花まつりの行事はお釈迦さまのことを身近に感じることができそうですね。

住職 そうですね。三仏忌の中でも灌仏会は、皆さんにわかりやすいというか、とっかかりやすい行事だと思います。三仏忌というのは、お釈迦さまに関わる三つの日で、お釈迦さまの誕生日の灌仏会（4月8日）。悟りを開かれた日とされる成道会（12月8日）。入滅された日の涅槃絵（2月15日）のこです。

問 花まつりのこの機会に仏教について改めて考えてみるのもよいですね。

住職 仏教について…と難しく考えず、感謝するという気持ちを大切にすることでも仏教につながるのではないのでしょうか？

問 以前、手を合わせることは感謝の気持ちの表れというお話を伺いました。でも、実際には手を合わせる機会というものが少なくなっただけに感じます。私たちは幼い頃から知らず知らずに身に付いた習慣で家庭や学校でも「いただきます」と合掌してから食事をするのが当たり前でしたが、今は学

校などでは宗教的な色彩があるということで廃止しているようですね。

住職 残念なことですが、そうですね。「いただきます」と手を合わせることは、私たちが生きるために食べている肉や魚や野菜など「いのち」を頂いていることに對して有難い事、もったいない事と感謝の意味を込めて手を合わせているのです。様々な「いのち」の恵みをいただいて今の私の「いのち」があることと、勿論それらの作物を作る方、調理する方と多くの方々のおかげでこの食事ができるということに對して感謝する気持ちを大切に思っていますね。

問 私たちが生きている中では、何かの犠牲があつて成り立っていることが殆どですから、そう考えると何に對しても粗末にすることはできませんね。

住職 食に関してもそうですが、「いのち」の繋がりといたところでは、父方のご先祖さま、母方のご先祖さまのいのちが代々受け継がれて、そして父と母が縁を結んでくれたからこそ今ここに自分のいのちがあるということも忘れてはならないことです。

問 普段の生活の中では、自分がここに居ること自体が当たり前でいのちについてあまり意識することはなかったのですが、いろんな因縁に結ばれて、今の私がかここにあるのだということは有難いことなんですね。

住職 そうです。皆が感謝する心や、謙虚な気持ちを持つていれば世の中にあふれている争いことも少なくなるでしょうしね（笑）。

問 感謝の心をもって生活を送ることは大切なことだと思いますが、でも「感謝しなさい」と他人に言われても、本当の意味での感謝の気持ちは生まれてきませんよね。

住職 そういう心は、育ってきた生活の中で、また、接してきた環境によって身についていくものだと思います。子どもや若い人たちに「感謝の気持ちを持たない」と責めるのではなく、まずは自分自身をみつめて、きちんとしたお手本になっているのか考える必要があるのではないのでしょうか？

問 お寺のご本尊へ参拝したり、ご先祖様の墓前へ家族で行つて手を合わせること、まず私自身が感謝の気持ち

を持つてということですね。心がけたいと思います。本日はありがとうございます。

暮らしの中の 仏教語

「無学」【むがく】

一般に、知識の無い人や教養の無い人を「あの人は無学だ」などと言ったり「自分は無学で…」と恥たりしますが、仏教では逆の意味。仏教の教義を学び尽くして、奥義を究めた学識の高い人をいいます。つまり「学ぶことが無いひと」の意味。そして、無学の反対を有学といい、まだまだ学ぶ必要があるということを意味します。

いつの頃から逆さまの意味に使われるようになったのかは不明ですが、すでに中国において逆となつて、そのまま両方の意味が日本に取り入れられたそうです。



「四諦八正道」Ⅱ

ブッダガヤーの菩提樹の下で悟りを得たお釈迦さまが説いた最初の説法を「初転法輪」といい五人の求道者たちに説かれました。その内容は「四諦八正道」と呼ばれる仏教の根本原理でした。



人は欲望によって苦しみが生じる（集諦）。そして人生は苦しみで満ちている（苦諦）。しかし、8つの実践方法（道諦）によって苦しみが消滅し、涅槃に到達することができる（滅諦）。苦しみに関する4つの真理、四諦の中の道諦は8つの項目からなり八正道と呼ばれている。

苦しみを消滅するための8つの実践方法

お釈迦さまが初転法輪で説かれた説法は仏教の根本原理とされる「四諦八正道」と呼ばれるものでした。四諦は苦しみに関する4つの真理。八正道は、苦しみをなくす8つの実践方法のことをいいます。八正道は、

- ① 正見＝正しいものの見方。
 - ② 正思惟＝正しく考え判断すること。
 - ③ 正語＝正しい言葉、嘘や無駄話、仲違いさせる言葉、粗暴な言葉を離れること。
 - ④ 正業＝正しいふるまい。
 - ⑤ 正命＝正しい生活。
 - ⑥ 正精進＝正しい努力。
 - ⑦ 正念＝正しい思念。
 - ⑧ 正定＝正しい精神統一。この8つの実践方法からなります。
- この八正道は、とても尊いものとされ、生きている人間のすべての営みを示し、このとおりにした修行者は、涅槃へと導かれるとされてるのです。

葬儀参列のマナー

葬儀参列のマナーといっても難しいことはありません。基本的に、マナーは思いやりの心ですから相手に不快感を与えないことが大切です。

服装

通夜の服装は本来は喪服でなく、紺やグレーなどの地味な服装とされていますが、最近では儀式化されていることから喪服を着用する人が多く、喪服が無い場合は黒で統一した服装をします。光沢のある素材や肌の露出が多いものは避けます。

受付で香典を出すとき

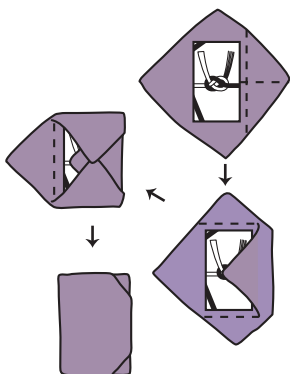
香典は袱紗に包んで持参します（くれぐれも香典袋をむき出しにして持つことのないように）。受付の順番がきたらその場で袱紗を開き、香典だけを両手で受付の係の方に渡します。「この度はご愁傷様でございます」など簡



潔にお悔やみを述べ、芳名帳に記帳します。

袱紗の包み方

まず袱紗を◇形に置き、次に真ん中に不祝儀袋をおき、右↓下↓上↓左という順で包みます。



【お香典の袱紗の包み方】

参列してお焼香をする

仏式で行われる焼香の作法は、宗派によって異なります。しかし、葬儀をされている宗派と違う焼香をしたからといって失礼にあたるわけではありません。自分の属する宗派の作法で心をこめて焼香すればよいでしょう。

浄土宗では、焼香の回数にこだわられません。仏・法・僧の三宝に帰依するという意味をこめて三回、心を静め、身を清めると考えれば二回、真心をこめて一心に行うならば一回でもよい。

お悔やみの言葉

一般的なお悔やみの言葉は、以下のとおりです。

「このたびはご愁傷様です。」

「このたびは突然のことで大変でしたね。」

「心からお悔やみ申し上げます。」

数珠

家が仏教なのであれば、数珠はひとつは持つておくべきでしょう。手を合わせる時には数珠をするのが作法です。また、数珠はバックやポケットに無造作に入らず、数珠袋や風呂敷につつまなど大切に扱います。

最後に

あたりまえのことですが、うつかりしがちなのが携帯電話です。マナーモードにしてあってもバイブレーターの音などは意外と気になるものです。携帯電話は、電源を切るか、もしくはマナーモードでもバイブレーターは切っておきましょう。

またお葬式では、知り合いに会うこともあると思いますが、世間話などの私語は慎むのが遺族へのマナーだと思います。話しは斎場を出た後からにしましょう。

遊馬・柳島 七福神めぐり ウォーキング (新年開運七草粥の会) 報告



新年に入り最初の行事、七草粥の会が1月7日に開催されました。今回から七草粥の会とあわせてはじめて七福神めぐりウォーキングですが、およそ100名の参加がありウォーキングの後には西願寺で七草粥を食べ楽しい1日となりました。

**多くのご参加
ありがとうございました。**



西願寺参道



厄払い節分分会法要(豆まき)報告

去る2月3日は、西願寺「厄払い節分分会法要」が開催されました。「鬼は外、福は内」の掛け声のもと今年も力士たちが参加しての豆まきににぎやかな節分となりました。



灌仏会 (はなまつり)

旧暦の4月8日は灌仏会です。一般には「花まつり」の名で親しまれています。この行事は、紀元前6世紀、ルンビニーの花園でお生まれになったお釈迦さまの誕生を祝うものです。

お釈迦さまの母である王妃マヤー夫人は、お産のため隣国の実家のお城に向かっていました。その旅の途中、ルンビニーの花園に立ち寄ると急に産気づき、お釈迦さまが誕生したのです。お釈迦さまは、幼名をシッタールタといいお生まれになってすぐに七歩あるき、七歩目に右手を上げ天上を指さし、左手は足下の大地を指さし声高らかに「天上天下唯我独尊」と宣言されました。

空には龍が現れ天空より甘い雨を降らせ誕生を祝福しました。

灌仏会では、お釈迦さまの誕生の地であるルンビニーの花園を表した花御堂の中央にお釈迦さまの誕生仏を安置し、仏頂に甘茶を注ぎます。歴史は古く、唐の時代の中国僧・義浄や法顕は、インドの灌仏会の様子を詳しく記録しています。

日本では、推古天皇14年(606)に奈良の元興寺で行ったのがはじまりといわ



れています。全国に普及したのは江戸時代。人々は「めでたきことに寺詣で」とお釈迦さまの誕生を祝いました。

灌仏会が花まつりの名で親しまれるようになったのは、一説では明治45年、仏教青年伝道会が東京・浅草公園で花まつりを行ったのがはじまりと言われています。

掲 示 板

西願寺 別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日 18時より
場所／西願寺本堂

◆参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

※当日灯明料をご奉納
願います。

申し込み・お問合せ
西願寺

TEL. 048-925-1723



●春彼岸会

3月18日（火）～3月24日（月）

●葬祭フェア開催

3月22日（土） 23日（日）

場所▶彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀について
のご相談やご質問をお受けいたします。お気軽
にお越しください。

◆葬祭フェアについてのお問合せ

（彩の都 あすま会館）

TEL.
048-
921-4194



彩の都メモリアルパーク管理事務所 管理費口座引落としのお知らせ

平成26年度分管理費が下記の日程にて口座より引落としをさせていただきます。口座の残高が不足している場合引落としが完了いたしませんのでご確認ください。

第1回引落とし 平成26年3月6日（木）

第2回引落とし 平成26年4月7日（月）

（第1回で引落としが出来なかった方のみ）

※第1回引落としができなかった場合は、4月7日に再度引落としの手続きをいたします。

管理料変更のお知らせ

消費税改定に伴い、平成26年度4月からの管理料が変更となります。

■お便り募集■

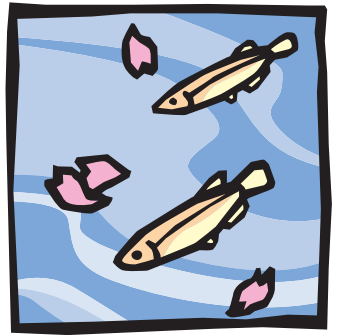
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「ごんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (3265) 1302 Mail: info@io-con.net

■次号予告

次号は平成二十六年六月発行予定の「お盆号」です。



◆編集後記◆

この原稿を書いている今はまだまだ寒い時期なのですが、先日ふと街路樹を見上げると枝の先にはポツポツと花芽が膨らんで春を迎える準備をしていました。春は何かをスタートさせるのにもピッタリの季節ですね。私も新しく何かを始めてみようかな…。下準備だけで終わらせないよう頑張ります！

さて、今号ではご住職に感謝する気持ちについてお話を伺いました。感謝する心や謙虚な気持ちがあれば争いごとが減るのではという言葉に深くうなずいてしまいます。穏やかな気持ちでいられるためにはきちんと感謝できる自分が大切なのかもしれませんね。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部